

# 令和4年度 水道事業会計及び下水道事業会計 予算の概要について

令和4年6月22日  
上下水道部総務課

# 目次

## 1 水道事業会計

- 3つの財布 . . . ①
- 令和4年度予算編成方針 . . . ②
- 令和4年度の主な事業 . . . ③
- 令和4年度予算の内訳 . . . ④
- 純利益の推移 . . . ⑤
- 内部留保資金残高の推移 . . . ⑥
- 企業債残高の推移 . . . ⑦

## 2 下水道事業会計

- 3つの財布 . . . ⑧
- 令和4年度予算編成方針 . . . ⑨
- 令和4年度の主な事業 . . . ⑩
- 令和4年度予算の内訳 . . . ⑪
- 純利益の推移 . . . ⑫
- 内部留保資金残高の推移 . . . ⑬
- 企業債残高の推移 . . . ⑭

- 3 最後に . . . ⑮



# 1 水道事業会計

## ■ 水道事業会計の3つの財布

### 第1の財布

水を作るのにいくらかかり、いくらで売ったのかを知る財布

<収入>		<支出>	
・水道料金		・純利益(税抜)	
		・減価償却費	
		・維持管理費 ・企業債利息	

### 第2の財布

水道施設の建設や更新をする財布

＜収入＞		＜支出＞	
<ul style="list-style-type: none"><li>・補てん財源</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・建設改良費</li><li>・企業債元金</li></ul>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・企業債</li><li>・国からの補助金</li></ul>			

### 第3の財布

第1の財布の利益や減価償却費などを貯金したり、第2の財布のお金が不足したら補てんする財布

<内部留保資金>  
・損益勘定留保資金

## ■ 令和4年度水道事業会計予算の編成方針

- 1 本格的な人口減少社会を迎え、水需要の減少に伴う上下水道事業の経営状況の悪化が見込まれることから、**限られた経営資源を有効に活用しながら、中長期的に持続可能な**上下水道事業の経営を確保する。
- 2 **弘前市水道事業資産管理計画(アセットマネジメント計画)の継続実践**により、施設の老朽化と耐震化対策を実施することで、**安心安全な水の供給のための基盤強化を図り、一層災害に強い水道施設の構築を進めていく。**
- 3 職員一人ひとりが**コスト意識を徹底し、最少の経費で必要な効果を発揮**できるよう努める。

## ■令和4年度水道事業会計の主な事業

### ①水道施設整備事業

6億9, 292万3千円(企業債・国庫補助金・一般会計負担金)

### ②老朽管更新事業

5億1, 865万8千円(企業債・国庫補助金・一般会計負担金)

### ③主要管路耐震化事業

1億5, 137万3千円(企業債・国庫補助金・一般会計負担金)

### ④樋の口浄水場等建設事業

8億9, 044万8千円(企業債・国庫補助金・一般会計負担金)

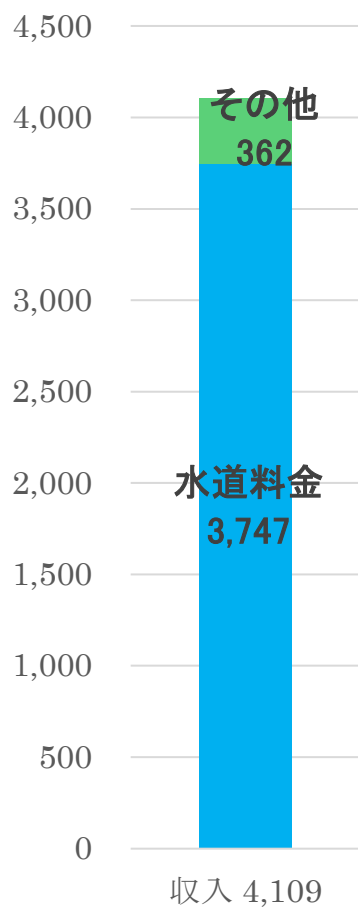
### ⑤上下水道PR事業

68万3千円(自己資金)

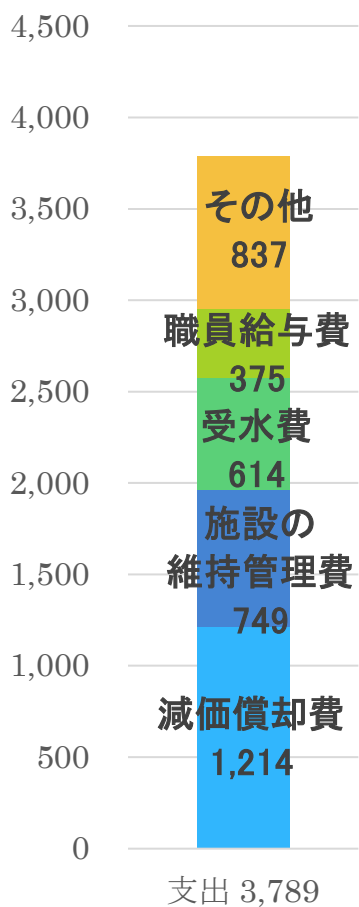
# ■令和4年度水道事業会計予算の内訳

(単位：百万円)

## 収益的収入

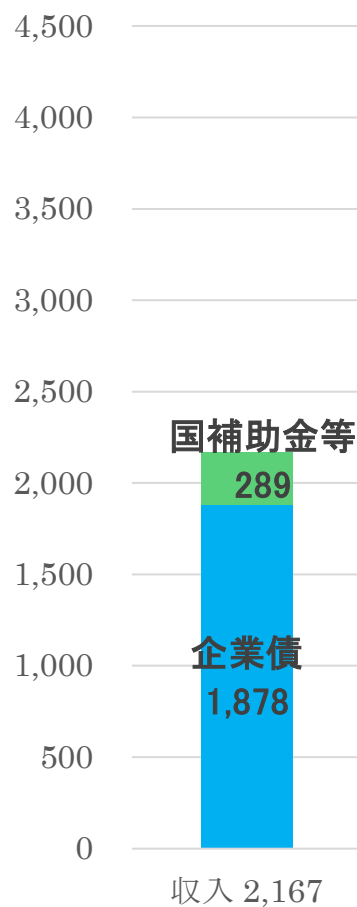


## 支出

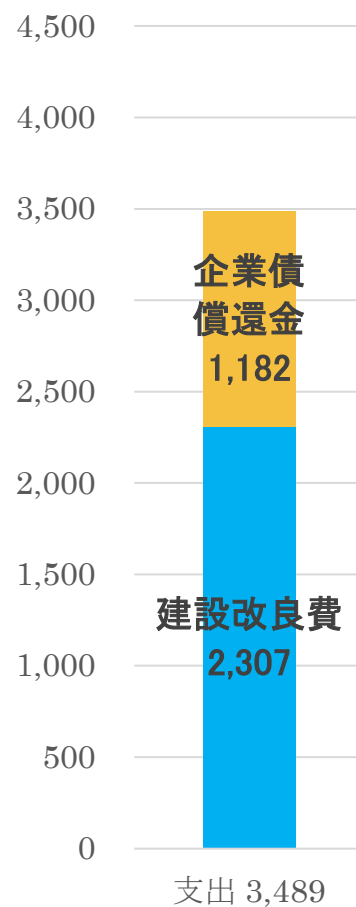


(単位：百万円)

## 資本的収入



## 支出

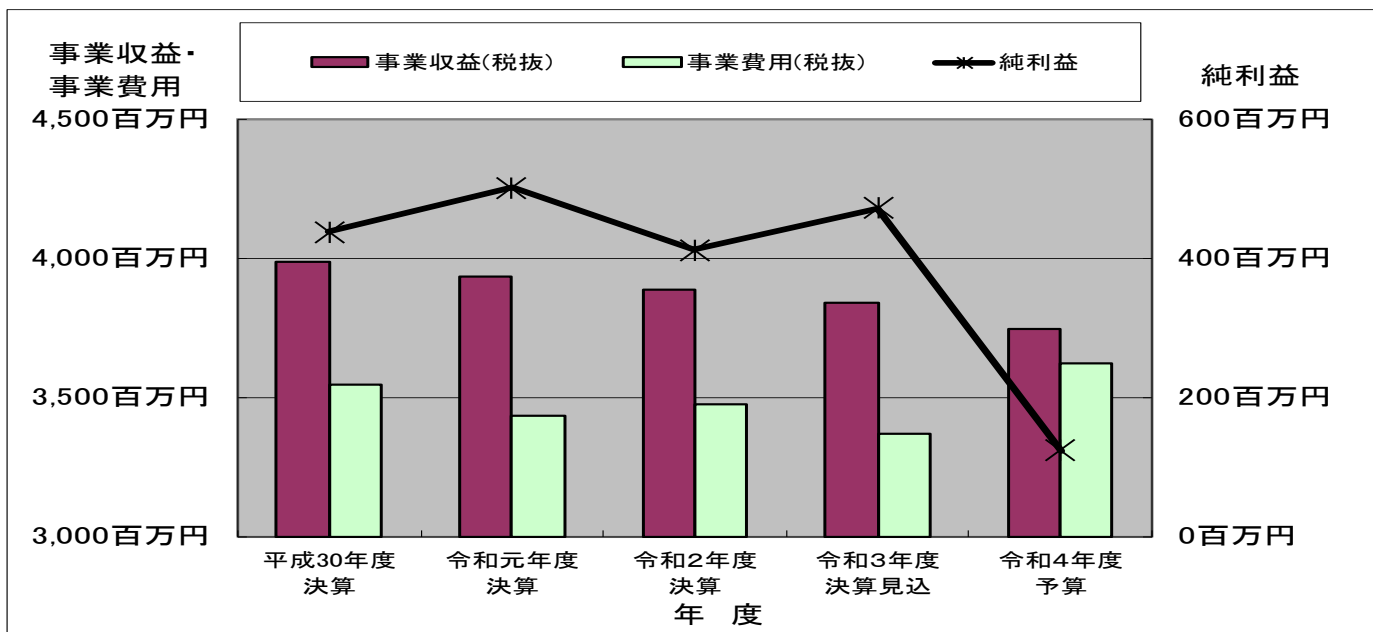


# ■ 水道事業会計純利益の推移

## ■ 年度別純利益

(単位: 百万円)

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算見込	令和4年度 予算
【参考】事業収益(税込)	4,281	4,254	4,249	4,197	4,109
【参考】事業費用(税込)	3,761	3,643	3,726	3,636	3,789
事業収益(税抜)	3,985	3,932	3,887	3,840	3,746
事業費用(税抜、雑支出含む)	3,547	3,431	3,475	3,368	3,623
純利益	438	501	412	472	123

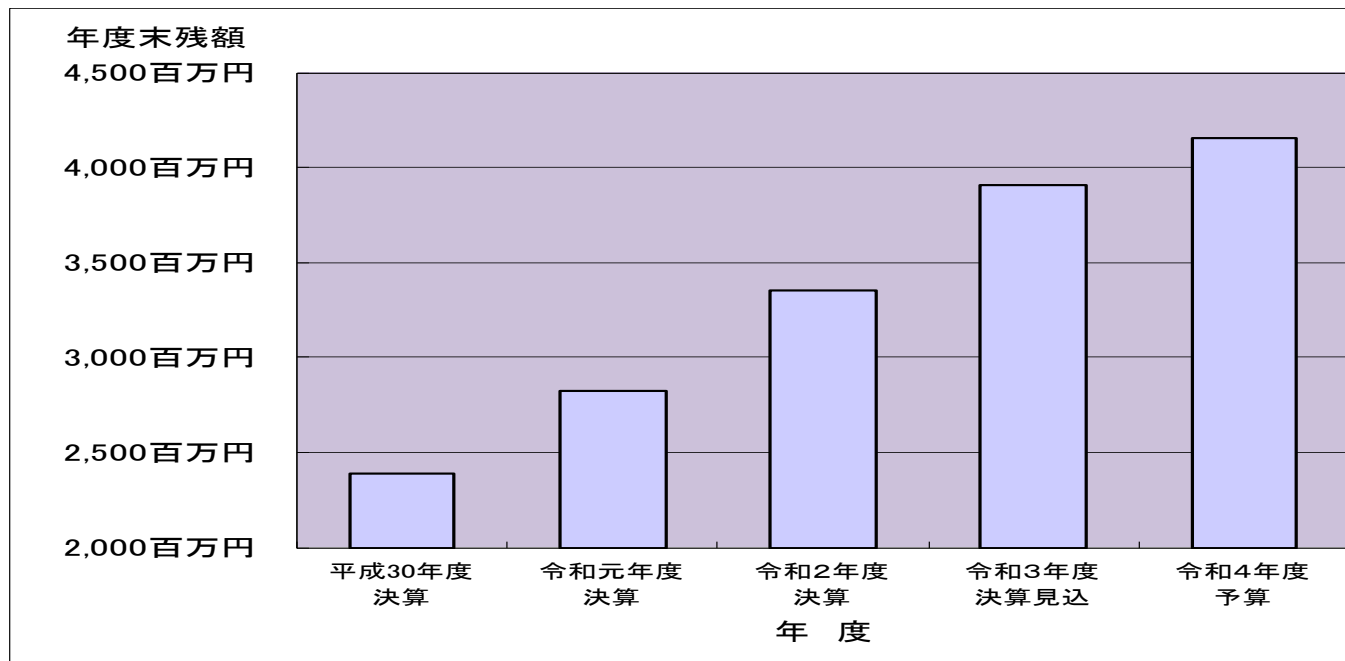


# ■ 水道事業会計の内部留保資金残高の推移

## ■ 補てん財源の状況

(単位: 百万円)

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算見込	令和4年度 予算
年度当初残額	2,177	2,387	2,822	3,351	3,907
発生額	1,512	1,666	1,779	1,738	1,572
使用額	1,302	1,231	1,250	1,182	1,321
年度末残額	<b>2,387</b>	<b>2,822</b>	<b>3,351</b>	<b>3,907</b>	<b>4,158</b>
前年度比較		435	529	556	251



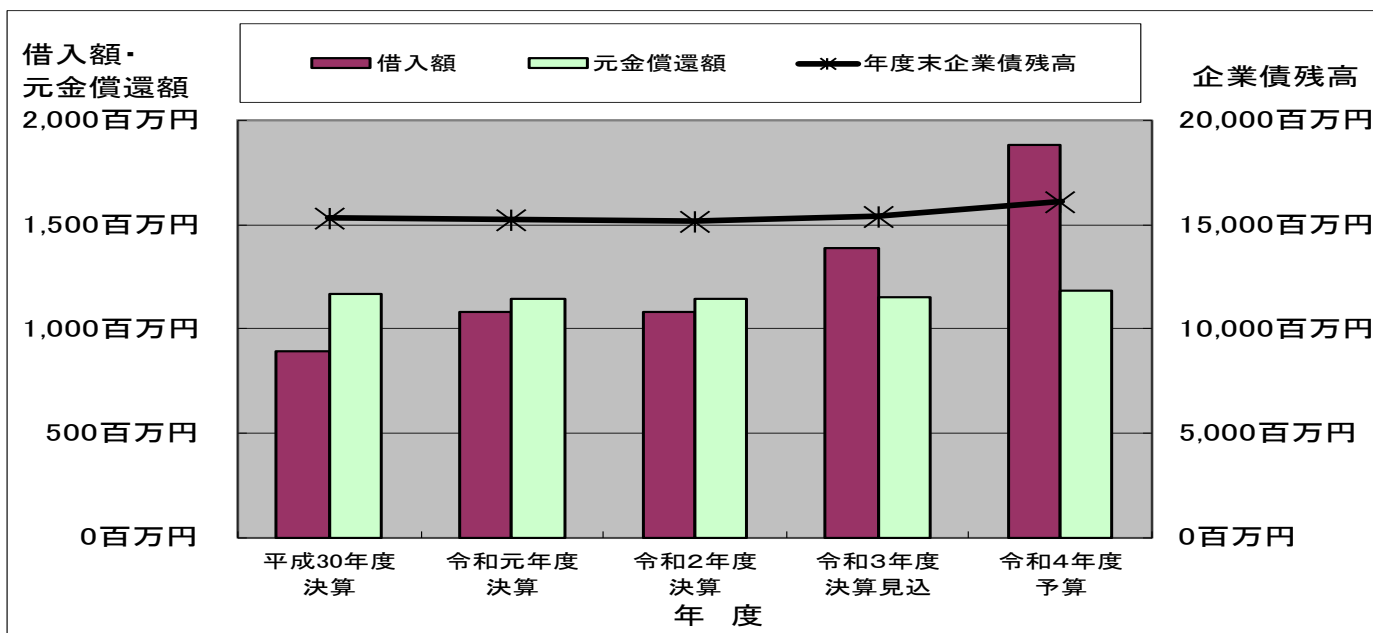


# ■ 水道事業会計の企業債残高の推移

## ■ 企業債年度別償還額・残高見込

(単位: 百万円)

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算見込	令和4年度 予算
年度当初企業債残高	15,552	15,278	15,216	15,149	15,380
借入額	892	1,080	1,078	1,383	1,879
元金償還額	1,166	1,142	1,145	1,152	1,182
利息	273	251	231	212	194
年度末企業債残高	15,278	15,216	15,149	15,380	16,077

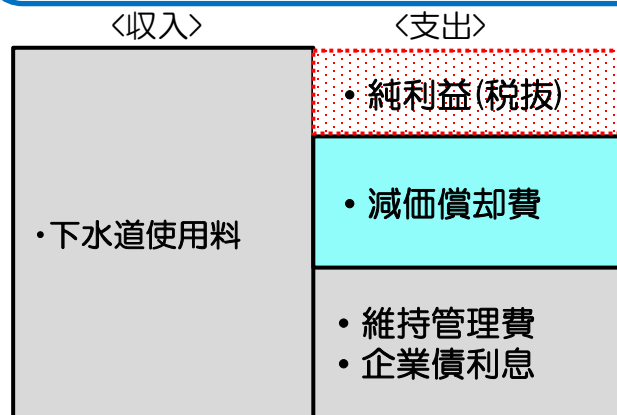


## 2 下水道事業会計

### ■ 下水道事業会計の3つの財布

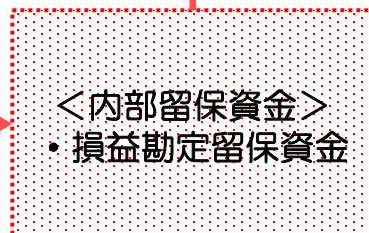
#### 第1の財布

汚水をきれいな水にするためにいくらかかり、  
下水道の利用者にいくら負担してもらったのかを  
知る財布



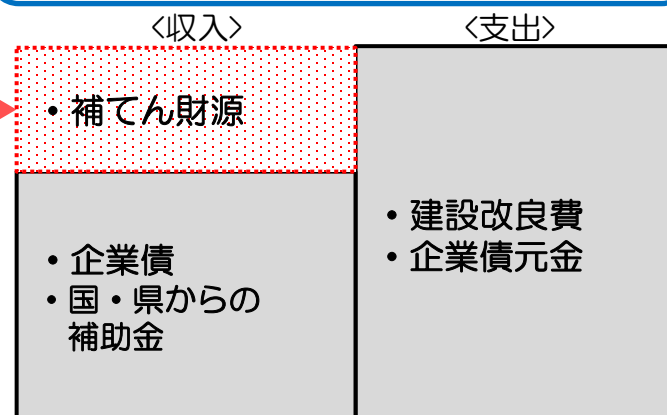
#### 第3の財布

第1の財布の利益や減価償却費  
などを貯金したり、第2の財布の  
お金が不足したら補てんする財布



#### 第2の財布

汚水を処理する施設の建設や更新を  
する財布



## ■ 令和4年度下水道事業会計予算の編成方針

- 1 本格的な人口減少社会を迎え、水需要の減少に伴う上下水道事業の経営状況の悪化が見込まれることから、**限られた経営資源を有効に活用**しながら、**中長期的に持続可能**な上下水道事業の経営を確保する。
- 2 **弘前市下水道事業資産管理計画(アセットマネジメント計画)を導入**し、計画的かつ効率的に資産管理を行いながら、**事業経営の健全化を図り**、汚水処理人口普及率及び水洗化率の向上を目指す。
- 3 職員一人ひとりが**コスト意識を徹底**し、**最少の経費で必要な効果を発揮**できるよう努める。

## ■令和4年度下水道事業会計の主な事業

### ①公共下水道事業

6億1,517万8千円(企業債・国庫補助金)

### ②特定環境保全公共下水道事業

695万9千円(企業債・国庫補助金)

### ③農業集落排水事業

8,627万1千円(企業債・国庫補助金)

### ④流域下水道建設負担金

1億5,022万8千円(企業債・国庫補助金)

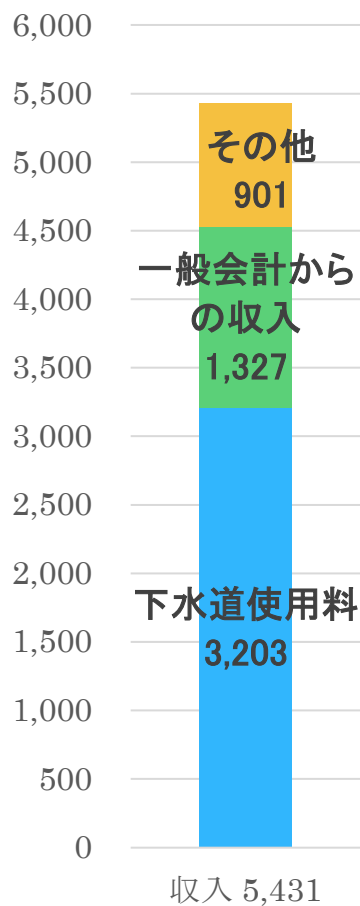
### ⑤上下水道PR事業【再掲】

68万3千円(自己資金)

# ■令和4年度下水道事業会計の内訳

(単位：百万円)

## 収益的收入

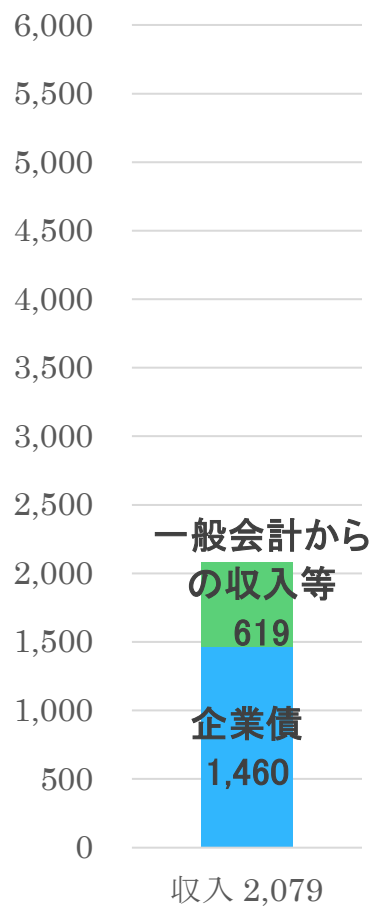


## 支出

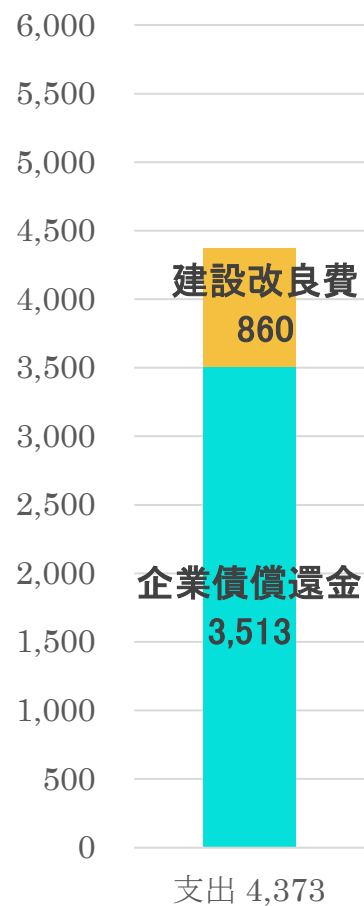


(単位：百万円)

## 資本的收入



## 支出

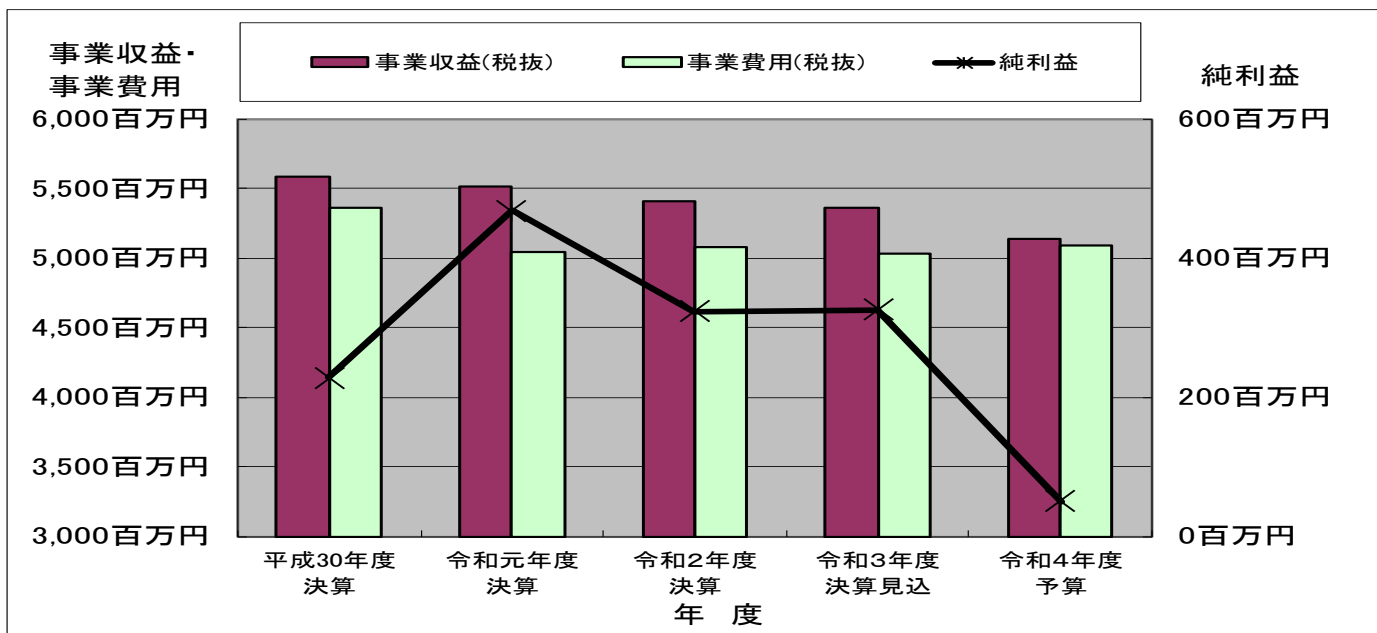


# ■ 下水道事業会計純利益の推移

## ■ 年度別純利益

(単位: 百万円)

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算見込	令和4年度 予算
【参考】事業収益(税込)	5,831	5,781	5,703	5,654	5,431
【参考】事業費用(税込)	5,554	5,220	5,331	5,276	5,324
事業収益(税抜)	5,588	5,515	5,406	5,359	5,140
事業費用(税抜、雑支出含む)	5,360	5,047	5,083	5,033	5,090
純利益	228	468	323	326	50

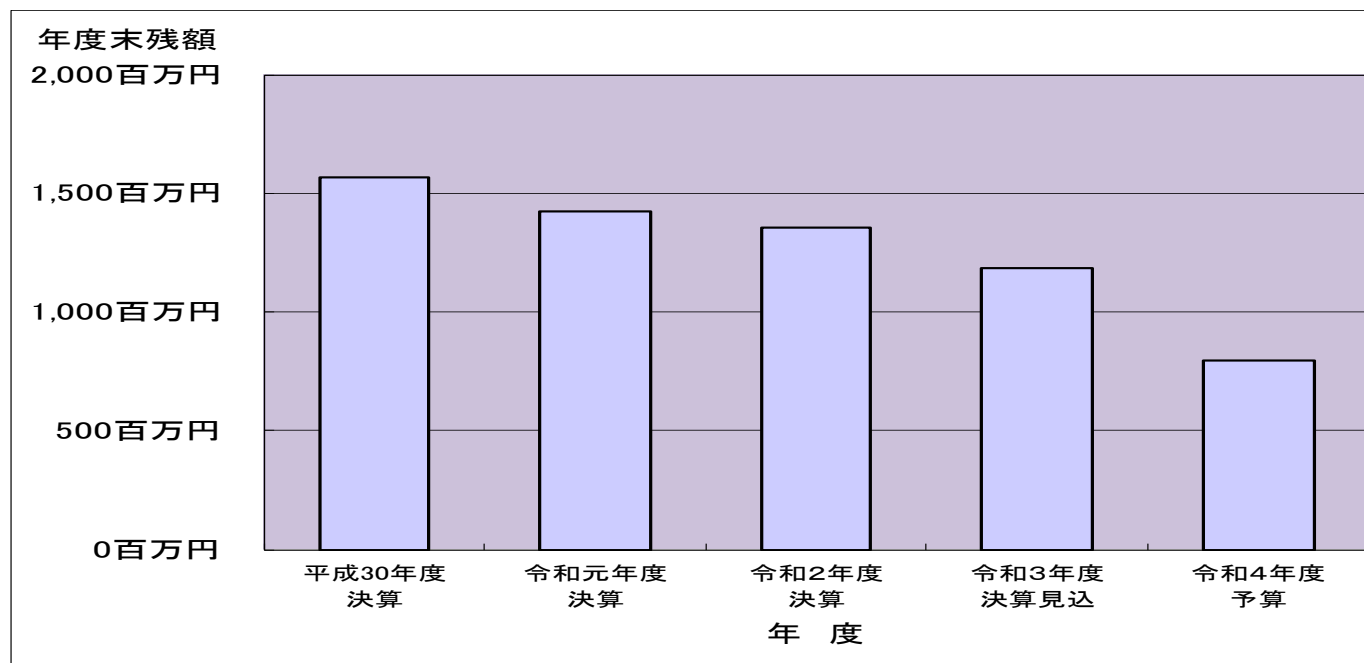


# ■ 下水道事業会計の内部留保資金残高の推移

## ■ 補てん財源の状況

(単位: 百万円)

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算見込	令和4年度 予算
年度当初残額	1,325	1,569	1,421	1,356	1,188
発生額	2,393	2,103	2,296	2,146	1,905
使用額	2,149	2,251	2,361	2,314	2,294
年度末残額	<b>1,569</b>	<b>1,421</b>	<b>1,356</b>	<b>1,188</b>	<b>799</b>
前年度比較		△ 147	△ 65	△ 168	△ 389

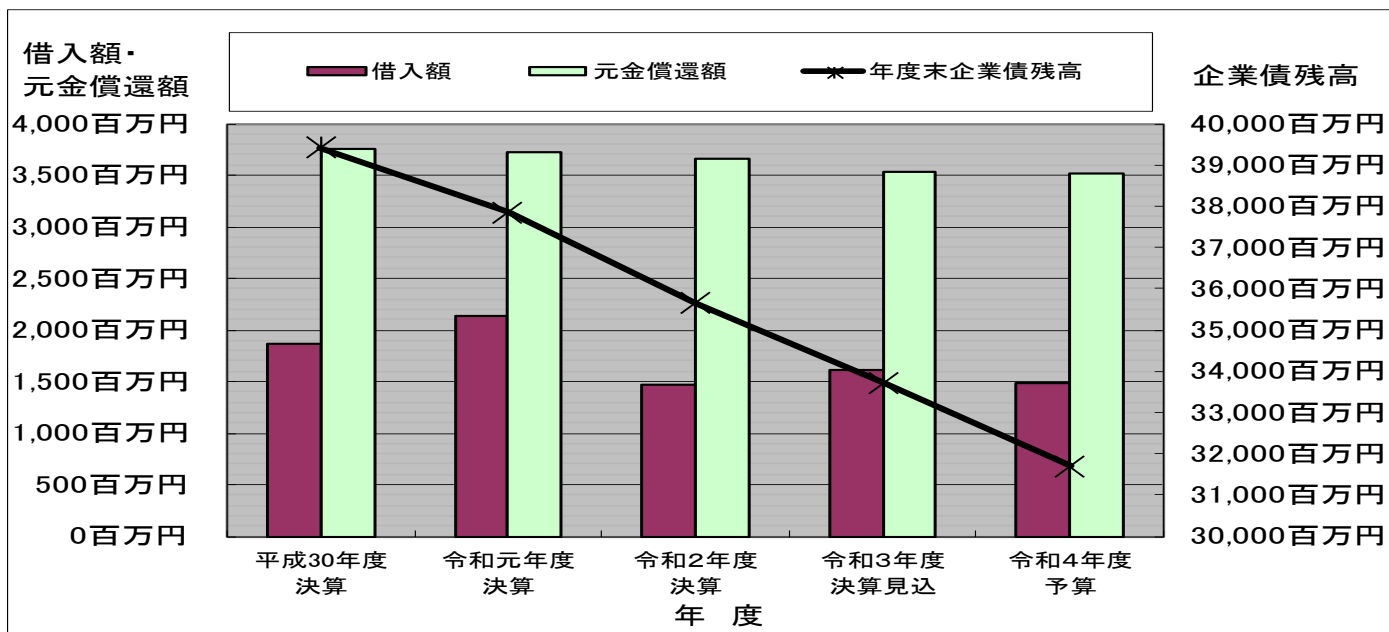


# ■ 下水道事業会計の企業債残高の推移

## ■ 企業債年度別償還額・残高見込

(単位: 百万円)

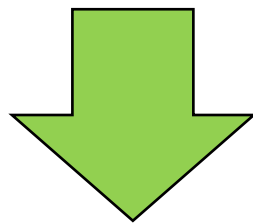
	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算見込	令和4年度 予算
年度当初企業債残高	41,317	39,424	37,842	35,651	33,717
借入額	1,859	2,134	1,473	1,604	1,483
元金償還額	3,752	3,716	3,664	3,538	3,513
利息	676	601	533	169	410
年度末企業債残高	39,424	37,842	35,651	33,717	31,687





### 3 最後に

上下水道事業は、限られた料金収入ですべての経費をまかなう**独立採算**が原則。



最少の経費で最大の効果をあげるように、常に**費用対効果**を意識した効率的な事業運営が必要。